



滝川市長

前田 康吉

令和七年

年頭の

あいさつ

【今年の一字】

決

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃からの市政に対する深いご理解とご協力に感謝申し上げます。

昨年の元旦には能登半島地震が発生し、大きな衝撃を受けました。いち早く応援会議を立ち上げ、企業や団体など多くの市民の皆様からいただいた浄財をご縁のあった石川県珠洲市へ義援金としてお送りし、早期の復興を願っていましたが、9月の豪雨で再度大きな被害を受けられてしまいました。心からのおくやみとお見舞いを申し上げ、復興を願うばかりであります。その他の地域でも豪雨被害が数多く発生しましたが、滝川市においては幸いにも災害が起きずほっとしております。しかし、防災力の向上は急務であり、自衛隊等4機関による合同図上訓練のほか、防災訓練を実施し、防災ボランティアの拡充も図っているところであります。

昨年は、極端な高温になることもなく天候に恵まれて、どの作物も豊作でなによりでありました。一方でお米の値上がりがありました。農作物の生産コスト高騰が続いている中で、農家の方がコスト割れしてしまうことを避けるために必要であることをぜひ消費者の皆様にご理解いただければと思います。

猛暑対策として、子どもたちの命を守るために学校へのエアコン設置を急いでいます。小・中学校すべての工事が3月までに終了し、滝川西高等学校については令和7年度中の設置を目指しています。

滝川駅周辺整備につきましては、昨年策定した「基本構想」

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、令和7年の新年を健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃より、市議会の運営をはじめ、議会活動に対し深いご理解ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

昨年は振り返りますと、1月元旦に発生した能登半島地震では、改めて自然災害の恐ろしさを認識させられました。防災・減災対策の強化とともに、被災地の一日も早い復旧と復興を願うばかりです。一方、明るい話題としては、パリオリンピック・パラリンピックにおける、やり投げの北口榛花選手をはじめとする道内出身選手の目覚ましい活躍は、私たちに勇気と感動を与えてくれました。また、例年本市で合宿を行っている国学院大学陸上競技部駅伝チームが、出雲駅伝と全日本大学駅伝で優勝し、お正月に開催される箱根駅伝優勝に弾みをつけてくれました。ぜひ三冠を達成してほしいと願っています。

市政の動きに目を向けますと、長年の懸案事項でありました駅前再開発の基本計画概要が見えてきました。今後、市民の皆様が多様なご意見を参考にしながら、市の玄関口にふさわしいにぎわいをもたらす空間づくりを官民と議会が連携して進めていきたいと考えています。また、平行して老朽化対策が課題となっている小・中学校の建て替えや、遊休施設の除却など山積する諸課題にも、市民の皆様のお知恵をお借りしながら議会としても適切に対処して参ります。

近年の異常気象がもたらす暑さから、子どもたちの生命と健康を守るための対策が急がれていました。昨年から空調設備の設置工事が進み、今年度中に全小・中学校が終了し、滝川西高等学校についても来年度中に設置される見通しと

あんじんけつじょう
「安心決定」

な一年に

※「安心決定」
将来の見通しが立って、
不安が全くないこと。

を基にワークシヨップや関係団体ヒアリング、市民アンケートを行いました。今後、民間活力をどこまで活用できるかを含めて「基本計画」の策定を進めて参ります。また、B&G財団の多大なご支援を受け、新年度に着工予定のB&G海洋センターは、一部にこども科学館の機能を有した通年利用型の複合施設となります。子どもたちに学びや体験プログラムを提供するほか、家族とのふれあいの場となる空間づくりを目指しています。

次に、市立病院の経営改革につきましては、昨年中空知地域が「地域医療構想モデル推進区域」に北海道内で唯一選ばれました。今後は国や北海道からの積極的な支援をいただきながら、市民の皆様のご健康と命を守るため、地域内の病院と機能分化・連携し、市立病院の経営改善に取り組んで参ります。

さらに路線バスの滝川市内線につきましては、4月から市が運行主体となり空知中央バス株式会社に運行を委託し、市民の皆様のご足を確保して参ります。

私は本年の一字を「決」としました。日本や世界の政治が混沌としている中、さまざまな変化が訪れています。子育て支援策の充実や、国学院大学北海道短期大学部との連携、新しい産業の息吹となるLetara株式会社への協力など多くの課題への「決め手」を見つけ、財政の健全性を維持しながら、一つひとつ「決断」して参ります。

本年もよろしくお願い申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

なっています。これにより学習環境の改善が図られます。企業誘致については、旧江部乙中学校跡地に北海道大学のベンチャー企業であるLetara株式会社が進出しました。人工衛星用推進系エンジンの開発を行っているとお聞きしており、子どもたちにとって宇宙への夢が広がる事業であり、地域経済の活性化にもつながるものと大きな期待を寄せています。

自治体DXの関連では、昨年、住民票等のコンビニ交付をはじめ、書かない窓口やお悔やみサポートの運用が開始されるなど市民の皆様のご利便性が向上しました。

地方議会の関係では、無投票や定員割れなど、議員のなり手不足が深刻化しています。そこで、当市議会では昨年、社会保障の一環として厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書を採択したほか、全国で相次いだ地方議会議員によるハラスメントに関する不祥事を受け、ハラスメントに対する理解をより一層深め、未然防止につなげるため研修会を実施しました。今後も多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備を進めて参ります。

今年は「福德円満」、市民の皆様が幸福で豊かに過ごされ、希望に満ちた一年になりますことをお祈り申し上げます、年頭の御挨拶いたします。

滝川市議会議員
山本 正信



「福德円満」

希望に満ちた一年に

※「福德円満」
幸福や財産に恵まれ、
満ち足りているさま。